

タカラ キッチンセット (BL認定品)

システムキッチン (BL認定品)

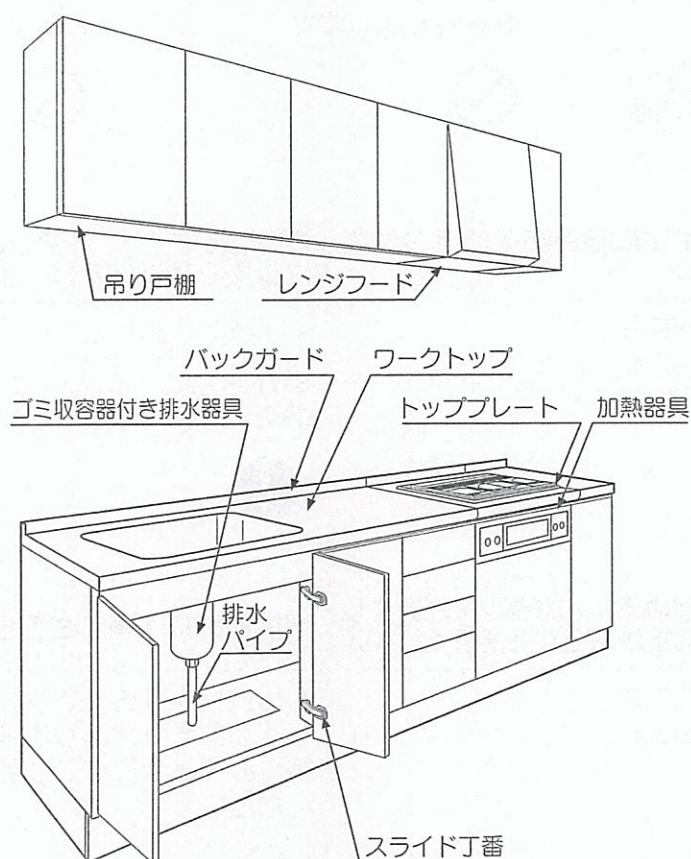
取扱説明書 保証書付

も く じ		
1 各部の名称	1 ページ	5 故障かな?とおもったら 11 ページ
2 安全上のご注意	2 ページ	6 アフターサービス 11 ページ
3 使用方法	5 ページ	7 保証書について 12 ページ
4 お手入れのしかた	9 ページ	

このたびはタカラ キッチンセット、システムキッチンをお買い求めいただきまして誠にありがとうございました。

ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は、いつでもご覧になれるところに大切に保管してください。なお保証書は、この説明書の最終ページに印刷されていますので、内容をよくご確認ください。

1. 各部の名称



2.安全上のご注意

必ずお守りください。

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や、家財の損害に結びつくものをまとめて記載しています。安全に関する重大な内容ですので、必ずお守りください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。
- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です。

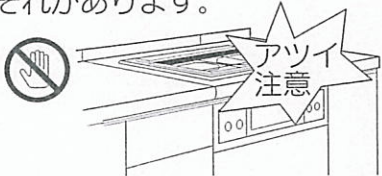
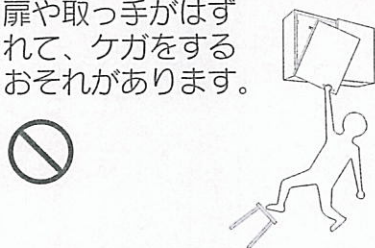
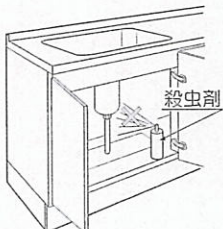
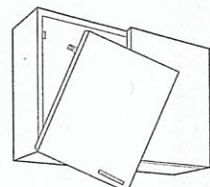
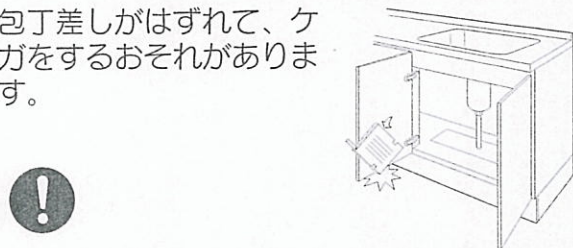
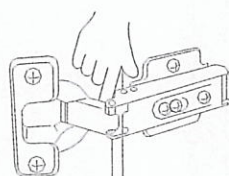


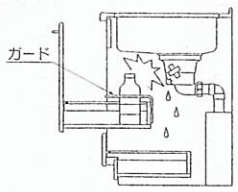
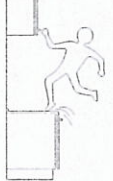
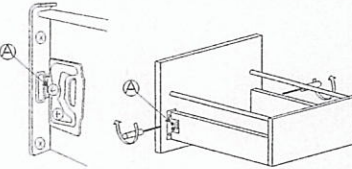
この絵表示は、「接触禁止」の内容です。



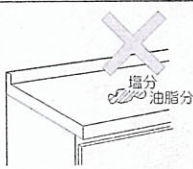
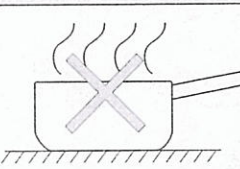
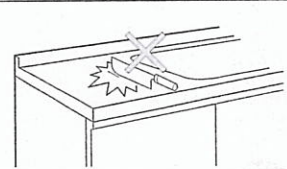
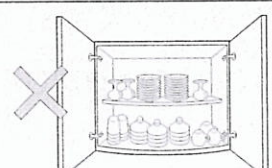
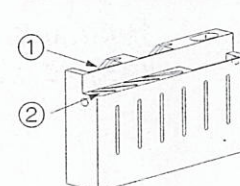
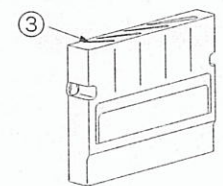
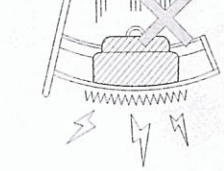
この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。

⚠ 注意

調理器の使用後、使用直後は、調理器周辺に手をふれないでください 調理器周辺の表面温度が高くなっているため、ヤケドのおそれがあります。 	扉や取っ手にぶら下がったり、扉を大きく開けすぎないでください 扉や取っ手がはずれて、ケガをするおそれがあります。 	熱湯や、てんぷら油を直接排水口に流さないでください 排水器具が変形したり、排水パイプに穴があいて、水漏れの原因になります。 
排水器具や排水パイプに殺虫剤を吹きつけないでください 排水器具やパイプが変形したり、割れたりして水漏れの原因になります。 	扉が傾いたり、ガタついている時は、丁番のネジをしめなおすか、弊社にご連絡ください * 丁番のなおし方：6ページ (2)参照 扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。 	
包丁差しの固定ネジがゆるんでガタツキが発生した場合、ネジをしめなおすか、弊社にご連絡ください 包丁差しがはずれて、ケガをするおそれがあります。 	扉開閉時に丁番にさわらないでください。 丁番に指をはさんでケガをするおそれがあります。特にお子さまにはご注意ください。 	

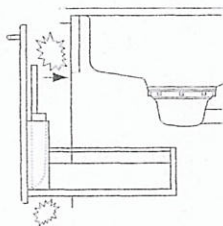
引き出しの上に乗らないでください	シンク下の引き出しのガード内にはガードより背の高い収納物を納めないでください
転倒して、ケガをするおそれがあります。  	収納物が排水器具と接触し、水漏れや破損の原因になります。  
ワークトップの上に乗らないでください	混合水栓を使用する時は、必ず水を先に出してください（混合水栓の使用方法は水栓の取扱説明書をご覧ください）
人がすべって落ちたり、キャビネットが転倒したりして、ケガをするおそれがあります。  	水栓および熱湯で、ヤケドをするおそれがあります。特に、小さなお子様のいる家庭ではご注意ください。  
扉がガタついている時は、ネジをしめなおすか、販売店にご連絡ください	排水の流れが悪くなったら排水器具や排水パイプにゴミ等がつまっていないか確認し、取り除いてください
④のネジをしっかり締め込んでください。  	知らずに水を出し続けると、シンクから水があふれるおそれがあります。 
〈耐震ラッチが取り付けられている場合〉地震の後、最初に扉を開ける時には、収納物が扉にもたれかかっているか確認してください	照明付き吊戸棚や吊戸棚底面に設置した照明器具の下で炊飯器やコーヒーメーカーの使用は避けてください
収納物が落下してケガをするおそれがあります。 	照明器具に蒸気が直接に長時間かかり続けると、照明器具の寿命が縮まったり、発火事故につながるおそれがあります。  
吊戸棚や水きり棚等に収める収納物は安定した状態で収めてください	棚板の位置を変える場合、棚受けダボは正しい向きできっちり奥まで差し込んでください
収納物が落下して、ケガをするおそれがあります。 	※7ページ(3)をご覧ください。  棚板、食器類が落下し、ケガをするおそれがあります。
⚠ 機器使用上注意	⚠ 台所用品の取扱注意
キッチンに組み込まれている機器、器具等については、それぞれの商品に添付されている、取扱説明書及び、本体の注意表示を必ずご覧ください。使い方を誤ると、思わぬ事故や、故障の原因となるおそれがあります。 	固形または粉末の塩素系洗剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。  水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

○快適にご使用いただくためにお守りください。

キャビネット・ワークトップ・キッチンパネル等に硬いもの、鋭利なものを当てたり落とさないでください		扉、引き出しを開いた状態で強い力をかけないでください	
傷、カケなどの損傷が発生するおそれがあります。 		丁番、レールに損傷が発生し、扉の開閉及び引き出しの摺動に支障をきたすおそれがあります。 	
ワークトップ上に塩分や油脂分などの汚れを長時間放置しないでください		ステンレス製ワークトップ・シンク上にぬれた包丁や缶類などの鉄製のもの、塩素系の洗剤・薬品などを長時間放置しないでください	
サビの原因になったり、汚れが取れにくくなったりします。 		もらいサビの原因になります。 	
人造大理石製ワークトップ上に熱いフライパンや鍋を直接置かないでください(鍋敷きを使用してください)		ワークトップ・シンクの上で、直接包丁を使わないでください。また鍋や食器の扱いに注意してください	
修理不可能な損傷が発生するおそれがあります。 		ワークトップに傷がついたり、包丁の刃のカケの原因になります。 	
棚板に過度に重い物や偏って物を収納しないでください			
棚板が変形するおそれがあります。 (間口10cm当たり2kg以上は避けてください。) (例：60cmの棚板1枚につき12kg以下。)			
包丁差しには包丁の刃が下表に示す長さ以上のものを収納しないでください			
包丁の刃が表面に出てケガをするおそれがあります。		Aタイプ包丁差し	Bタイプ包丁差し
			
		収納できる刃の長さ	
		① 23cmまで	
		② 19cmまで	
		③ 23cmまで	
引き出し内部には過度に重い物を収納しないでください			
引き出しがこわれる原因になります。引き出し収納物の重量は下表を参考にしてください。			
●スライドレールの場合			
部 位	大型引き出し (シンク・ガス下他)	足元引き出し (台輪部分)	小型引き出し (調理下)
最大収納重量	15kg	15kg	8kg
●側板内側にストッパーがついているレールの場合			
部 位	小型引き出し (調理下)		
最大収納重量	4kg		
			

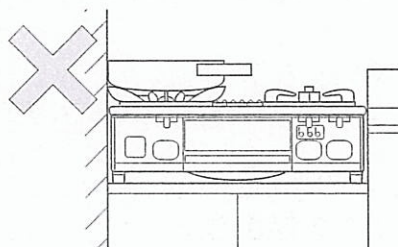
包丁差しには柄の長さが14cm以上の包丁を収納しないでください

柄がキャビネットに当って破損するおそれがあります。



調理をする際、キッチンパネルに鍋やフライパンが直接触れたり、炎が直接当たるような使い方をしないでください

キッチンパネルが変形するおそれがあります。



3.使用方法

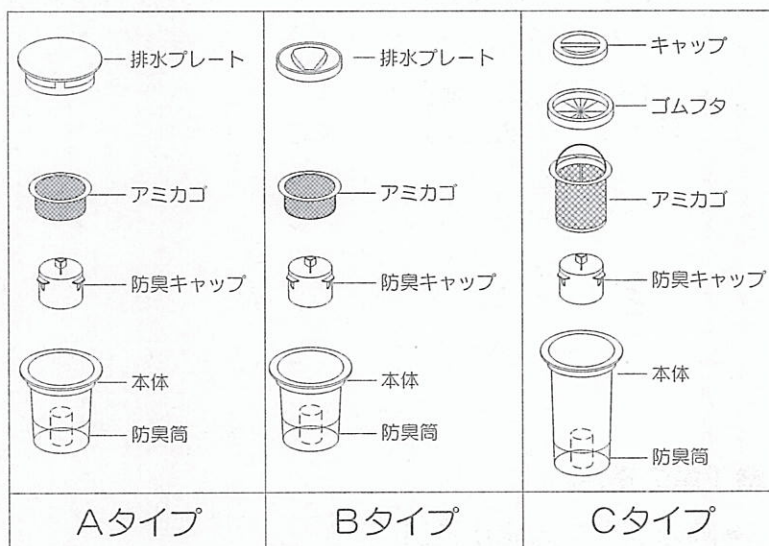
(1) 排水器具の取り扱い

※排水器具は、下図の3タイプがあります。

①Aタイプの場合、小さな食品のクズやカスは排水プレートとシンクの間から直接入れてください。

Bタイプの場合、小さな食品のクズやカスは排水プレートの穴から直接入れてください。大きな食品のクズやカスは排水プレートをはずし、アミカゴに直接入れてください。

Cタイプの場合、食品のクズやカスはキャップを開けてゴムフタの上から直接入れてください。



②クズの処理は、排水プレートもしくはキャップとゴムフタを取り、アミカゴを取り出して捨ててください。捨てた後、アミカゴ、排水プレートもしくはキャップを元通りの位置に取付けてください。

③きれいに使用いただくためにクズを捨てたあとのアミカゴは、中性洗剤で洗ってください。

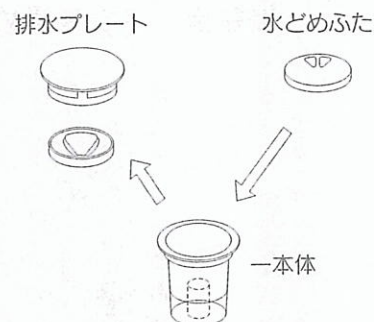
④防臭キャップは、下水からのニオイをシャ断するための部品です。清掃時以外は必ず装着しておいてください。防臭キャップは左に回すとはずれ、右に回すと固定されます。

⑤本体底部には防臭用の水が常に溜まっています。この水が凍結した場合は、排水できませんので70～80℃程度の湯で徐々に溶かしてから使用してください。

⑥A・Bタイプの場合でシンク内に水を溜める場合は、排水プレートをはずして別売部品の水どめふたを使用してください。

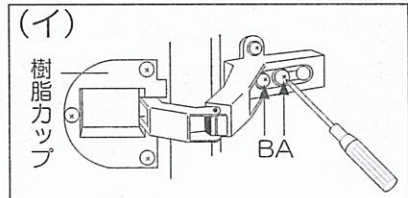
ご注意：塩素系の[ヌメリ取り剤]・[ヌメリ防止剤]等の薬品は、シンクや金属製アミカゴのサビ発生の原因となる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

ご注意：排水プレート、ゴムフタを食器洗い乾燥機に入れたり、長時間熱湯の中につけたりしないでください。変形するおそれがあります。また、裏向けで取付けしないでください。排水が阻害されるおそれがあります。



(2) 扉の調整のしかた *調整には+ドライバーが必要です。

扉がガタついたり、扉に段違いが発生した場合は、下記の要領に従って締め直し又は調整行ってください。



〈ホーロー扉スライド丁番タイプ〉

①丁番の調整のしかた

※丁番には(イ)～(ホ)の5タイプがあります。

〈スライド丁番の場合〉

●扉ガタツキの修正方法

Aのネジをしっかりと締め込んでください。

●扉の前後方向の調整方向

Aのネジをゆるめて丁番を移動させ、再度Aのネジを締め込んでください。

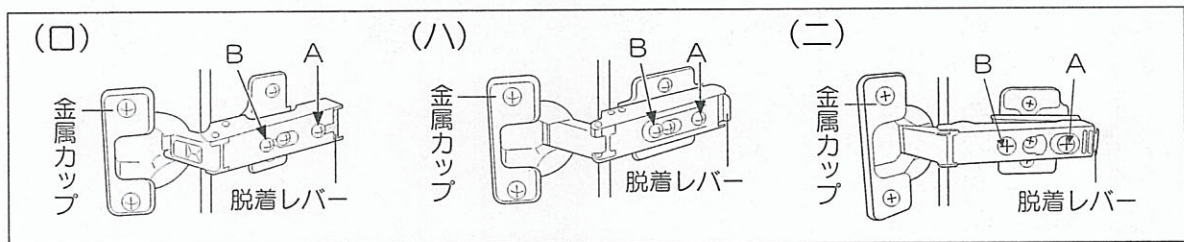
●扉の左右方向(段違い)の調整方法

●(イ)の場合

Aのネジをゆるめた後、Bのネジの締め込み代で調整し、再度Aのネジを締め込んでください。

●(ロ)(ハ)(ニ)の場合

Bのネジの締め込み代で調整してください。



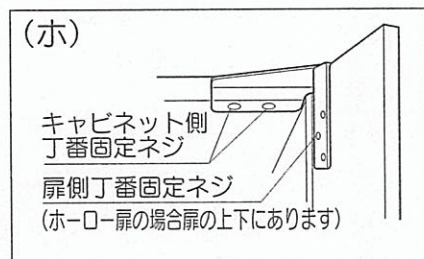
〈木製扉スライド丁番タイプ〉

〈軸丁番の場合〉

●扉ガタツキの修正方法

扉側または、キャビネット側の丁番固定ネジをしっかりと締め込んでください。

ご注意：(ホ)タイプでもし丁番自体が変形している場合は、販売店にご連絡して必ず交換してください。



〈軸丁番タイプ〉

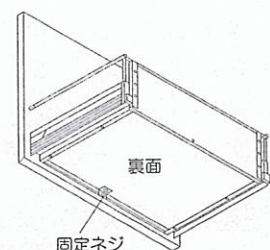
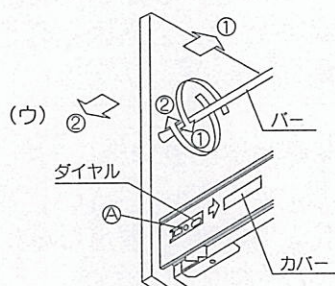
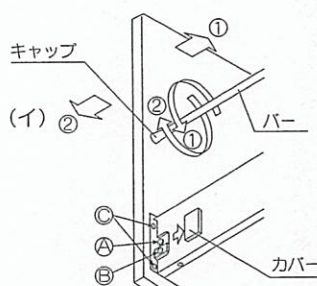
②スライド扉の調整のしかた

※スライド扉には(イ)(ウ)の2タイプがあります。

※底板裏面より扉を固定しています。

扉の上下・左右調整する場合はネジをゆるめてください。

調整後、ネジを締め直してください。



- スライド扉の前後方向(角度)の調整

(イ)タイプ：左右のキャップを回して扉の角度調整を行ってください。

(ウ)タイプ：左右のバーを回して扉の角度調整を行ってください。

- スライド扉の上下方向の調整

スライド扉側枠のカバーをはずしてください。

(イ)タイプ：Aのネジをゆるめた後、Bのネジを回して上下を調整し、再度Aのネジを締め直してください。

(ウ)タイプ：ダイヤルを回して上下を調整してください。

調整後、カバーを元通りにはめてください。

- スライド扉の左右方向の調整

スライド扉側枠のカバーをはずしてください。

(イ)タイプ：Cのネジをゆるめて左右を調整し、再度ネジを締め直してください。

(ウ)タイプ：側枠右側のAのネジを回して左右を調整してください。

調整後、カバーを元通りにはめてください。

(3) 棚板の位置の換えかた

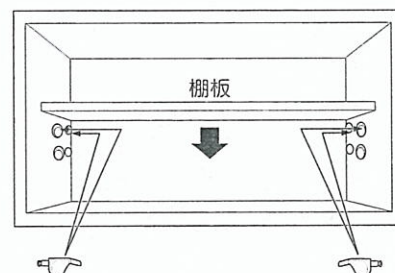
棚受けダボにはA・Bの2タイプがあります。



① Aタイプの場合

棚受けダボを引き抜き、抜いたダボを希望の位置に「パチン」と鳴るまで差し込んでください。

棚受けダボの上にそのまま棚板を設置してください。



② Bタイプの場合

- 棚板のはずしかた

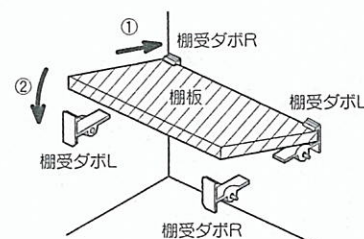
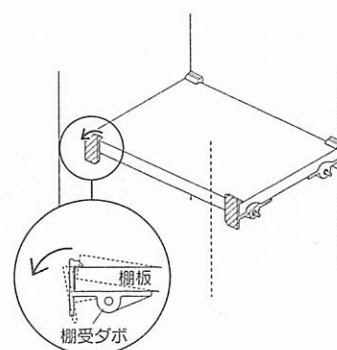
前側のダボの上部に親指をかけ、手前にはじいてください。

- 棚受けダボの取り付けかた

希望の位置にダボをしっかりと奥まで差し込んでください。

- 棚板の設置のしかた

奥のダボに棚板を差し込み、次に前のダボの上から棚板を押し込んでください。



(4) 引き出し・スライド扉・スライド棚板のはずしかた

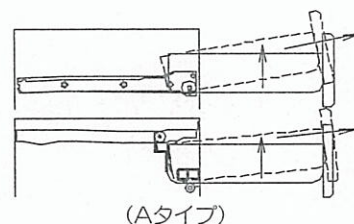
①引き出しのはずしかた

●スライドレール（A タイプ）の場合

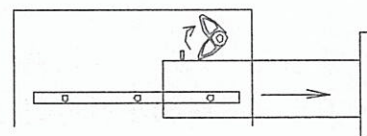
引き出しをいっばいに引き出した後、上へ持ち上げながら引き抜いてください。

●側板内側にストッパーがついている場合

引き出しを半分ほど引き出し、ストッパーを右図のように回転させた状態で引き抜いてください。また、引き出しをセットした後は、ストッパーがきいていることを確認してください。



(Aタイプ)



②スライド扉のはずしかた

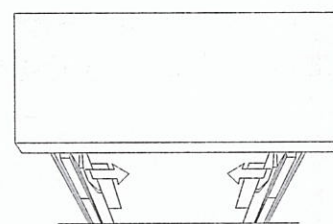
※前ページの(イ)(ウ)の2タイプがあります。

●(イ)タイプの場合

①のスライドレール（Aタイプ）の場合と同じ手順で取りはずしてください。

●(ウ)タイプの場合

スライド扉をいっばいに引き出した後、底板裏面の扉取付側にある左右のレバーを内側に押しながらスライド扉を手前に引き、取りはずしてください。



(ウ) タイプ

スライド扉を取付ける場合は、キャビネット側のレールを引き出し、その上にスライド扉をのせて扉を閉めてください。

(5) 包丁差しの着脱のしかた

機種によっては着脱のできない包丁差しもあります。

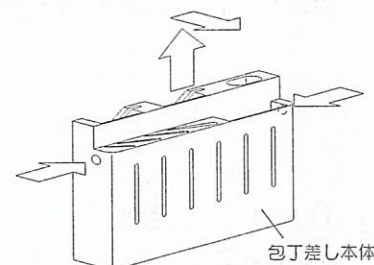
Aタイプ包丁差しの場合

●取りはずしかた

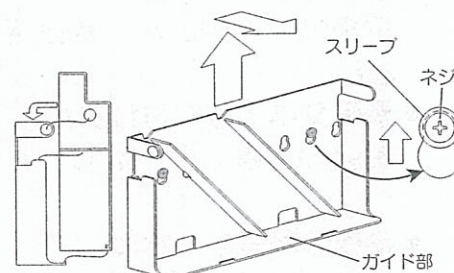
- ①包丁差し本体両サイドのボタンを押しながら、上へ引きあげるようにしてはずしてください。
- ②ガイド部はスリーブでダルマ穴に引っかけていますので、上へ引きあげてはずしてください。

ご注意：スリーブをとめているネジははずさないでください。また、ネジが緩んでいる場合は軽くネジを締めなおしてください。

Aタイプ包丁差し



包丁差し本体



スリーブ

ネジ

ガイド部

●取り付けかた

- ①スリーブにガイド部のダルマ穴を差込んで、“カチッ”と音が鳴るまで降ろしてください。
- ②ガイド部のボタンを押しながら包丁差し本体を差込み、本体の穴とボタンが合う位置に取付けてください。

Bタイプ包丁差しの場合

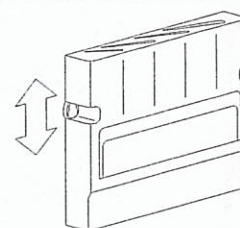
●取りはずしかた

- ①包丁差し本体両サイドのダルマ穴にスリーブで引っかけていますので、上へ引きあげてはずしてください。

●取り付けかた

- ①スリーブにダルマ穴を差し込んで、“カチッ”と音が鳴るまで降ろしてください。

Bタイプ包丁差し



(6) 耐震ラッチが取り付けられている場合

- 耐震ラッチは、地震等の揺れが発生し扉が開きかけた時に、ロックがかかって扉が全開するのを防ぎます。
(このとき、扉は2～3cm開きます)

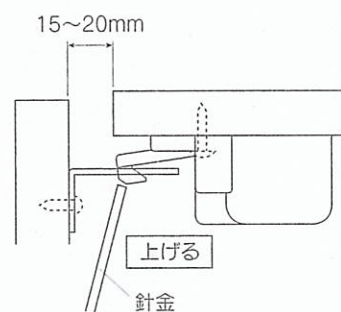
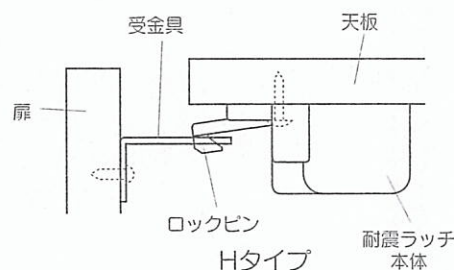
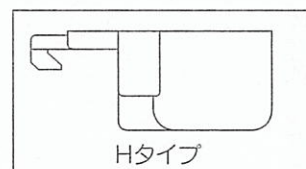
ご注意：耐震ラッチは地質、建物の構造、階数により性能を充分発揮できない場合があります。

- 通常使用（扉の開閉）においては、ラッチは作動せずロックはかかりません。
- 扉の開閉は、力を入れずやさしくおこなってください。
- 地震等の揺れで扉がロックした場合は、一度扉を閉め直し、揺れがおさまってから開いてください。

Hタイプは揺れがおさまるとロックは自動的に解除されます。ただしキャビネットが傾いた場合はロックが解除されませんので、次の順序でロックを強制解除してください。

- ①扉の隙間を15～20mmに保持してください。
- ②扉の隙間より針金等細いものを差し込み、ロックピンを押し上げながら扉を開けてください。

ご注意：強制解除後の耐震ラッチは必ず新しいものと交換してください。



4. お手入れのしかた

いつまでも美しく快適にご使用いただくためには日頃のお手入れが大切です。
なお安全にお手入れしていただくために、ゴム手袋の着用をおすすめします。

ワークトップのお手入れ

●ステンレス製ワークトップ・シンクの場合

油脂分、汚れ、水あか等は、柔らかい布かスポンジに中性洗剤をつけてふき取り、水で十分洗い落としてから乾いた布でふいてください。

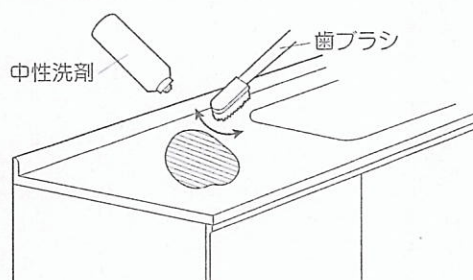
・落としにくい場合

こびりつき等落ちにくい場合は、水に浸した後、歯ブラシなどを用い中性洗剤でこすってください。それでも落ちにくい場合は、粒子の細かいクリームクレンザー（液体）を使用してください。その後、水ぶきしてクリームクレンザーを完全にふき取ってください。最後に乾いた布で水分を完全にふき取ってください。

・サビが付着した場合

サビが付着した場合は粒子の細かいクリームクレンザー（液体）を使用してふいてください。

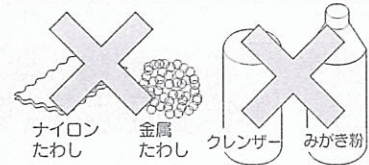
その後、水ぶきしてクリームクレンザーを完全にふき取ってください。最後に乾いた布で水分を完全にふき取ってください。



・キズがついた場合

やわらかい布かスポンジに粒子の細かいクリームクレンザー（液体）をつけ、みがいてください。その後、水ぶきしてクリームクレンザーを完全にふき取ってください。最後に乾いた布で水分を完全にふき取ってください。

ご注意：ナイロンたわし、金属たわし、粒子の粗いクレンザー、ミガキ粉類を使用すると表面に傷がつくおそれがありますので、絶対使用しないでください。また塩素系の洗剤、漂白剤もサビ発生の原因となりますので絶対使用しないでください。



●人造大理石製ワークトップの場合

スポンジ、布などの柔らかいものに台所用洗剤をつけてふいてください。

・落としにくい場合

ナイロンたわしを水に浸して円を描くようにまんべんなくみがいてください。それでも落ちにくい場合は粒子の細かいクレンザー（液体）を併用してみがいてください。

・表面に傷がついた場合の補修方法

クレンザー、目の細かいサンドペーパー(400番程度)でみがいて補修します。傷が深い場合は目の粗いサンドペーパー(240番程度)で補修し、最後にナイロンたわしで仕上げてください。

キャビネット、扉部、その他のお手入れ

●ホーロー製キャビネット、扉、キッチンパネルの場合

汚れがついた時は、水または温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

●木製キャビネット、扉の場合

汚れがついた時は中性洗剤をつけた布でふき取った後、かたくしぼった布で余分な洗剤をふき取ってください。

●プラスチック製部品の場合

汚れがついた時は、水または温水を浸した布でふいてください。落ちにくい汚れの場合は、中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきしてから、からぶきしてください。

●ステンレス製底板の場合

汚れがついた時は、柔らかい布かスポンジに中性洗剤をつけてふき取り、水ぶきした後、乾いた布でふいてください。落ちにくい汚れやサビが付着した場合は粒子の細かいクリームクレンザー（液体）を使用してふいてください。

ご注意：溶剤、酸性・アルカリ性・塩素系の洗剤、漂白剤は使用しないでください。商品をいためるおそれがあります。



5.故障かな？とおもったら

修理サービスをお申し付けになる前に次の点をお調べください。

現 象	確 認 事 項	処 置
排水の流れが悪い	アミカゴにゴミがつまっていませんか 本体底部にゴミがつまっていませんか 排水パイプがつまっていませんか 排水器具の本体底部が凍結していませんか	アミカゴを掃除してください 防臭キャップをはずし掃除してください 排水キャップ用洗剤を使用してパイプの掃除をしてください 70～80℃程度の湯で徐々に溶かしてください。
排水器具、パイプの接続部より水漏れする		点検修理依頼してください
扉が傾いたり、扉ががたついたりする	丁番の固定ネジがゆるんだり、丁番が変形したりしていませんか	ネジがゆるんでいる場合は、締め直してください。それでも直らない場合や丁番が変形している場合は、点検修理依頼してください
引出が閉まり切らない	収納物が引っ掛かっていませんか	収納物が引っ掛からないように収納し直してから閉めてください。それでも閉まり切らない場合は、一度引出を全開してから閉めてください。

以上のことをお調べになり、それでも具合の悪いときはお買い求めの販売店または下記フリーダイヤルへご連絡ください。

6.アフターサービス

タカラ キッチンセット、システムキッチンのアフターサービスは、お買い求めの販売店にお申し付けください。

また、おわかりにならない時は、下記フリーダイヤルへご連絡ください。



0120-557-910

受付時間 9:00～18:00（土日祝・夏期・年末年始休業日を除く）

アフターサービスをお申し付けの際は、次のことをお知らせください。

- (1) 製品名
- (2) 機種名（検査合格証に記載がある場合）
- (3) 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
- (4) ご住所・ご氏名・電話番号・道順

取り替えパーツについては、商品の生産中止後10年間保管しています。

なお一部については、代替品をお願いする場合があります。

お名前		様		品 名	キッチンセット システムキッチン	
お 客 様	〒 ご住所				対 象 部 分	
	TEL ()			部品全般	特定機能部位以外	2 カ年
販 売 店	TEL ()			特定機能部位	シンクの防水機能 キャビネット本体 の剛性	5 カ年
	TEL ()					
お買上日		年 月 日				

- 本保証書は、当社のキッチンセット、システムキッチンで使用する製品を対象とします。
- 取扱説明書に保証書が添付されている関連商品については、各々の保証書記載内容によります。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間内に故障した場合には、お買い上げの販売店又はP11に記載のフリーダイヤルに出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店又はP11に記載のフリーダイヤルへご相談ください。
3. つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - (1) 一般家庭以外 (例えば車両、船舶への搭載、業務用など) に使用された場合の故障及び損傷
 - (2) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (3) 鉄分などによるもらいサビ、及び水滴の放置などによる汚れの付着、損傷
 - (4) メーカーが定める設置説明書に基づかない設置、専門業者以外による移動、分解等に起因する不具合
 - (5) お取付後の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (6) 建築躯体の変形など製品以外の不具合に起因する不具合、塗装の色あせ等の経年変化または使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象
 - (7) 海岸付近、温泉地などの地域における腐食性空気環境に起因する不具合
 - (8) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合
 - (9) 火災、爆発事故、落雷、地震、洪水、津波等天変地異または戦争、暴動等破壊行為による不具合
 - (10) 消耗部品の消耗に起因する不具合
 - (11) 異常電圧、指定外の使用電圧 (電圧、周波数) などによる故障及び損傷
 - (12) 水栓金具において、砂やゴミ等の異物流入による不具合
 - (13) 温泉水、井戸水などにおいて水道法に定められた飲料水の水質基準に適合しない水を供給したことによる不具合
 - (14) 凍結に起因する不具合
 - (15) 本書の提示がない場合
 - (16) 本書にお客様名、販売店名、お買上げ日の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (17) 離島または離島に準じる遠隔地へ出張修理を行う場合の出張に要する実費
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はP11に記載のフリーダイヤルへお問い合わせください。

タカラスタンダード株式会社

本社 〒536-8536 大阪市城東区鳴野東1丁目2番1号

TEL 06-6962-1531

151194

10C-5